

路面電車乗り入れを含めた 岡山駅前広場のあり方検討について

検討資料 【資料編】

資料編：目次

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1. 各デザイン案に対する意見概要 | 1 |
| 2. その他の駅前広場デザインに関する意見概要 . . | 6 |

特定テーマ1に対する企画提案

「市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザインについて

「OKAYAMAひとまちスクエア」
 「人が主役」「まちが舞台」の岡山の新たな出発点！
 デザインコンセプト：人を迎え、人が楽しい、人が憩う、おみやげのまちに触れるはじまりの場所として
 私たちの設計チームは、岡山駅前広場の整備を単なる駅前広場のインフラの整備だけでなく、人が集う賑わいの空間を創出することで、「岡山の魅力の発信」を付加価値として提案します。

「OKAYAMAひとまちスクエア」デザイン方針
 私たちは、岡山駅前広場が新たな「岡山の顔」にふさわしい場所となるために、「人が注目のまちづくり」
「岡山のまちの魅力発信する場所」をキーワードに次の3つの方針で取り組みます。

- ①岡山らしさの発信
岡山に触れるはじまりの場所にふさわしい、象徴的なデザインと魅力の発信による岡山のブランド化
- ②にぎわいの創出
人がとまり、集い、駅とまちをつなぐ場として、人々の自由な交流を育むことによりにぎわいを創出
- ③中心市街地への回遊性
駅前だけで完結しない、中心市街地全体を誘導したランドスケープによる回遊性の向上

中心市街地全体の活性化を図り、地域の人々に愛され、これからは多くの人を迎え入れる岡山の玄関口として、地域コミュニティ、地域産業の活性化に貢献します。

概算工事費：10～20億円程度

<A社>

有識者の意見概要

- ・駅前広場の利活用を考えた提案としては、不十分。
- ・屋根の構造については、四季に対する対応が不十分。
- ・屋根部分の排水や戸井のゴミなどが懸念され、現実的に感じられない。
- ・チームワークが不安。
- ・岡山らしさが明確ではない。
- ・支柱が多く、イベント時に使いにくいと感じる。
- ・支柱が多いため、人の流れの動線が雑多になりそう。
- ・たくさんパラソルがあり、きのこの林立の印象。
- ・支柱が多くなるので、イベント時の空間利用の自由度が制限される。
- ・夏の日射、輻射、冬の寒さ、強風を考えると利用度は低い。
- ・この構造物が固定化されるのは、あり得ない。
- ・象徴的なデザインがぶどうでいいのか。
- ・たくさん支柱があるため、イベント広場が狭くなるのではないか。
- ・駅前広場に回遊のきっかけ作りをすることは、とても良い視点。
- ・提案のナイトエコノミー対応は、岡山市でも必要。
- ・カルチャーゾーンと駅前広場を結ぶ考え方はよい。
- ・提案が駅前広場だけでなく街にも及んでいることから、今後の街づくりへの提案は必要。
- ・イメージ先行が強く、具体性に欠ける(地下街対策など)。
- ・照明をいろいろ多用して、四季折々、独特の雰囲気を出せそうところが期待できる。岡山らしさが更にできるとよい。
- ・桃太郎大通りへ駅前広場のテイストが広がっていくというのは、楽しいし、新しい魅力が生まれると思う。
- ・映像、音、光、街づくりをつないでいく案は賛成。
- ・OKAYAMAらしさを感じない。
- ・屋根の安全性に不安を感じる。
- ・地下街への水対策などが心配。
- ・ももちゃりポート等の空間は楽しいゆとりのある場所となるかもしれない。
- ・屋外で床材に木を使用すると、腐食したりしないか。
- ・屋根の柱が多い。
- ・屋根の柱については、雨水排水、照明配線等の機能を持たせるならば、一定の太さが必要と考えられるが、そのような柱が多いと動線の確保、視認性、イベントスペースの確保等に課題がある。
- ・排水設備が地中に網の目のように張りめぐらされることが想定されるため、維持管理に課題がある。
- ・路面サインを多用しており、もう少し立体的なサイン計画が必要。
- ・「岡山らしさ」が具体的に何なのか、少し分かりにくい。

特定テーマ1に対する企画提案

「市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザインについて

岡山駅の新たなランドマークとなる象徴的な屋根のデザイン「マスカット屋根」
 ●自然環境に恵まれた「晴れの国おかやま」太陽に向かってのびるような屋根をまちのランドマークに！

- 機やぶどうなど果物のモチーフ
小さな円の集合で屋根を形成することで人に寄り添うスケール(高さ)の建築となります。
- 太陽に向かってのびる植物のような屋根
屋根を離せる照明計画
自然光
軒裏に反射した自然光が広場を明るく照らします。夜は軒裏を照らす照明計画で、桃太郎大通りの夜景からも駅前ランドマークとして屋根が浮かび上がります。
- 柱の断面と屋根の大小、3種類の屋根の高さにより空間の深まりが演出されます。
柱が密にあるところは小さな屋根が通ります。
- 屋根を下から見上げた図
アクセント
岡山らしさを感じる素材(備前焼タイルなど)
アクセントとなるような新築の仕上げを検討します。
- 屋根で受けた雨は、中心の柱の中を流して排水します。

岡山らしさを感じる素材をアクセントに使用

広場での様々な活動が映り込み、にぎわいを創出

●屋根と屋根の間から自然光が入り、青空が垣間見える「マスカット屋根」

市民の意見概要(パブリックコメント)

- ・中途半端な感じが否めなかったり、岡山市のコンセプトをもとにしたデザインも強引さが目立ち、周囲の景観とマッチしていない。
- ・岡山駅に合わない。見た目が良くない。
- ・傘が多く連なる案については、「岡山」という場所を特徴的に表していない。
- ・岡山駅ならではの風景にならない。
- ・イベント時の様々なプランを想定しているのはいいが、小さな柱があちこちにある状況は、イベント開催時にはかえって自由なレイアウトを損なう。
- ・電停などに小さな円形屋根を付けるのはスペース的に無理。
- ・南側のひのきカフェも、車の排ガスが多く、お茶を飲む気になれない。
- ・工作物が多く、利用客の動線に影響する。
- ・柱が通行の邪魔になる。大反対です。
- ・屋根のデザイン性が高く、イベント等に使いにくいと思う。
- ・A案は、一見奇抜そうだが、抽象的なデザインは飽きがこず、見る人によって解釈可能でもあり、しかも岡山駅周辺の建物とマッチしており個人的には一番よいと思う。
- ・日傘のようなデザインは機能的にも優れている。

<B社>

得点1,931/3,000点

特定テーマ1に対する企画提案

4 外観/バス 市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン



概算工事費：100～150億円程度

特定テーマ1に対する企画提案

5 内観/バス 市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン



有識者の意見概要

- ・ガラスの大屋根は空間演出の手法としては魅力があるが、建設費の面から難がある。
- ・ガラス面の維持管理、安全性に関して、疑問がある。
- ・地下街との構造対応が難しいのではないかな。
- ・理想が高すぎると感じたため提案項目の優先順位を尋ねたが、高額な提案項目について拘りが強く、提案者の柔軟性が感じられなかった。
- ・現実的とは思えない。
- ・大屋根内は、夏になると、かなりの高温になるのではないかな。
- ・東側バス停に直線で行くブリッジの提案は工夫を感じる。
- ・駅前広場はよく現状を考察しているが、街全体への現状には触れていなかった。
- ・構造的に地下街が大丈夫か不明。
- ・大屋根の下の空間は、インパクトもあり魅力的。
- ・構造的な問題(基礎・地盤なども含め)が課題。
- ・コストを多く占める(B社の回答による)というガラス工事に工夫の余地がある。
- ・もう少し、陰も欲しい。
- ・桃太郎ルーフ以外の工夫が見られない。
- ・岡山らしさのデザインを感じられない。 ・岡山市のイメージを考えていないのではないかな。
- ・費用がかかり過ぎる。かなり、ハイコストな計画になる恐れがある。
- ・地下街への影響について、対応を考えているのか。
- ・桃太郎ルーフの下の工夫が必要。
- ・広場内の現状の問題点の検証はなされている。
- ・東側バス停に直線で行くブリッジの設定は、評価できる。
- ・ガラスの大屋根は、かなりのインパクトがあるが、地下街に与える悪影響が大なのではないかな。
- ・大屋根のガラスのメンテナンスが大変ではないかな。
- ・耐震性も少し心配。
- ・桃太郎ルーフは、シンボルとしての存在感はある。
- ・東側バス停に直線で行くブリッジができれば、便利になると思うが、コスト面が問題。
- ・東側バス停留所ゾーンへのショートカットルートが出来ているのは大変良い。
- ・桃太郎ルーフは、とても素晴らしいが、ガラスの屋根の安全性が気になる。
- ・大屋根と下の広場だけという感じで、岡山らしさをあまり感じられない。
- ・ガラス屋根では、広場利用者が暑さを感じるのではないかな。
- ・ガラス屋根は汚れが目立ちやすい。
- ・清掃(ガラスふき)も非常に困難であり、膨大な管理コストが想定される。
- ・ガラス屋根に求められる一定の強度の確保等を考えると、相当な重量の新設構造物になるものと想定される。
- ・地下街との土被りは1m程度のところもあり、基礎等が土被りの範囲におさまるのか。地下街への影響はどの程度なのか。十分な検討が必要。

市民の意見概要(パブリックコメント)

- ・プランBが最適。プランBが素敵。プランBがいい。
- ・仮称桃太郎ドームの、誰をも包み込む大きな屋根は多くの人が集う場所として、駅の集客力を最大限活かすものであり、人・情報・物が相互に交流される機能を持っている。また、災害時の拠点にもなる。
- ・事業費は、他のプランに比較して膨大な予算を必要とするが、イベント等の使用料などをあてることにより相殺できるものとする。
- ・近代的でよいが、低層の岡山駅とバランスが悪く、費用も高額。
- ・ガラス大屋根は折角の「晴れの国岡山」には、空を見せない事はもったいない。暑くて岡山になじまない。
- ・方面別バス乗り場の東(市役所筋側のバス停)への小型デッキには賛同できる。バス乗り場があまりに遠い。この場合、岡山駅公共通路からそのまま階段を降りずに南側のバス停まで行けるとありがたい。空の視界を妨げない小さいデッキが望ましい。出来れば、高島屋方面まで突き抜けると、利便性は向上する。
- ・工事費が高すぎる。概算工事費が高すぎる。事業費が高い。
- ・全面的に屋根があるため、駅から路面電車・バスに乗り換えるのに傘をささずにアクセスできる。広々とした屋根付きイベントスペースが確保されている。

特定テーマ1に対する企画提案



市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

起伏のある屋根デザインにより駅前広場に一体のイメージを作るデザイン

概算工事費：20～30億円程度

特定テーマ2に対する企画提案



駅前広場を拠点とする周辺への歩行者優先の動線確保

岡山の高々や小山を思わせる屋根のふくらみが駅前印象的な風景をつくります

桃太郎大通りに向かって大きなふくらみが開くことでまちへの見通しが良くなります

天井の高い大きなふくらみ下にあるイベント等を行える広めのスペース

どこからも見やすい公共交通案内所

岡山駅東口より桃太郎大通りを望むイメージ

<D社>

得点 1,811 / 3,000点

有識者の意見概要

- ・構想はよいが、実現性の面で難点が多い。
- ・広場の活用案に乏しさを感じる。
- ・屋根の下が暗くなることがよくない。
- ・住民ワークショップで直接市民の声を聞くこととしているが、ワークショップの想定が曖昧な点が懸念される。
- ・現実的な提案に感じられない。
- ・市民が関わることはよい。
- ・プレゼンでは抽象的な説明が多く、イメージだけに留まっている感がある。
- ・屋根により、空が見えなくなる。
- ・屋根の重量が持つのか。
- ・くだものだけで、岡山らしさを感じられない。
- ・イベント時には活用ができるが、通常時は全体的に暗いイメージになるのではないか。
- ・屋根の曲面の効果が、遠景からであったり新幹線からの視点であるのは、コストに合わない。
- ・歩行者目線での配慮が欲しい。
- ・雨水処理や構造的な裏付けに欠け、技術面で問題がある。
- ・新幹線からの眺めを考えている。
- ・住民との関わりをポイントとしている。
- ・岡山らしさのイメージが緑とぶどうでよい。もう少し強いイメージはないか。
- ・感覚的な満足度は追求しているが、実用性としては今少しとを感じる。
- ・人の流れ、集まりに対してはよく考えられている。
- ・豪雨のときには、この屋根は厳しいのではないか。
- ・地下街に及ぼす影響が大きすぎるのではないか(重量・柱など)。
- ・工事期間中、バス利用者・歩行者・地下街・JR利用者に、いろいろな支障が発生する恐れがある。
- ・電車の発着に合わせてシャワーがでるトラムシャワーというアイデアは楽しい。
- ・座る場所が多いことは評価できる。
- ・実現化するには、かなりハードルが高いのではないか。
- ・作り始めると、どんどんコストがかさんでくる可能性があるのではないか。
- ・広場に広い屋根では、駅が少し重たい感じがする。
- ・雨のときに、いくつかの穴があるがどうするか。
- ・郷土の緑の森の利用はしないのか。 ・既存の木も活かしてはどうか。 ・ぶどうの森の管理をどうするのか。
- ・桃太郎大通りの方向に、ふくらみのある屋根を整備するというのは良い。
- ・ベンチに備前焼を入れるのは良い。
- ・大屋根の汚れていく状態を、清掃で維持できるのか。
- ・大屋根は、大規模な基礎が必要と考えられ、地下街への影響が大きいのではないかと考える。
- ・屋根の設備規模が大きいため、植栽も含めて、維持管理コストが高額になることを懸念する。
- ・屋根の勾配が不規則であり、雨水排水の設計が困難。
- ・ベンチについては、バス乗り場への動線に支障しない配置が望ましい。

市民の意見概要(パブリックコメント)

- ・中途半端な感が否めなかったり岡山市のコンセプトをもとにしたデザインも強引さが目立ち周囲の景観とマッチしていない。
- ・岡山駅との外観のバランスが悪い。屋根下が暗く、全体的に暗いイメージになりそう。
- ・プランDがいい。
- ・「晴れの国岡山」の空を屋根ですべて覆うのはもったいない。閉塞感がある。
- ・支柱間の距離が長く、風圧など構造上に問題あり。
- ・無難と思う。
- ・全面的に屋根があるため、駅から路面電車・バスに乗り換えるのに傘をささずにアクセスできる。広々とした屋根付きイベントスペースが確保されている。
- ・岡山らしさを出せるのはD案。

E社

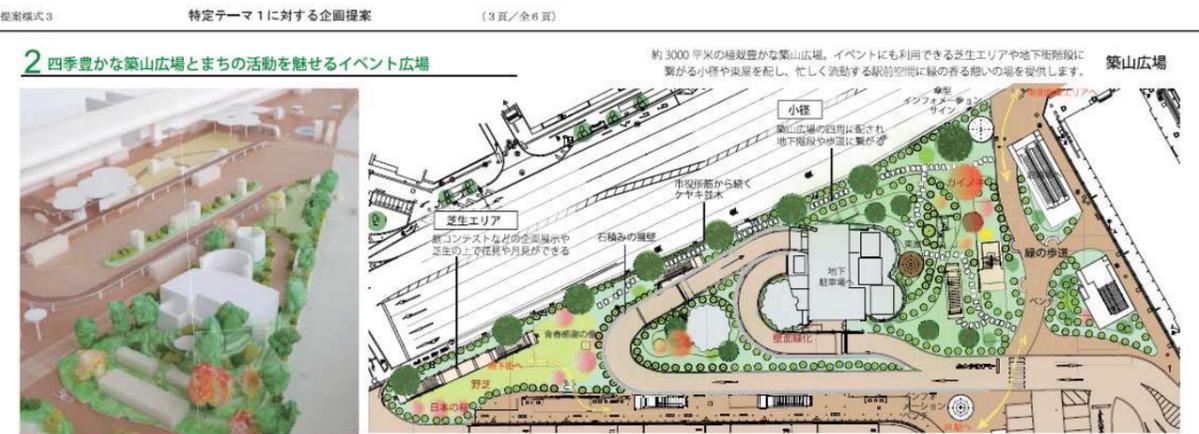
得点 1,843 / 3,000点



1 晴れ晴れしい水と緑の庭園広場を駅前に

歴史文化の都市岡山にふさわしい、後楽園の日本庭園のように知的で美しい駅前広場をつくります。水と緑の豊かな風土に生まれた土地に、公共空間でありながら、訪れた一人ひとりが心安らぐことができる駅前広場を実現します。

概算工事費：10～20億円程度



2 四季豊かな築山広場とまちの活動を魅せるイベント広場

約3000平米の植栽豊かな築山広場。イベントにも利用できる芝生エリアや地下街階段に繋がる小径や東屋を配し、忙しく流動する駅前空間に緑の香る憩いの場を提供します。



<E社>

有識者の意見概要

- ・駅前広場の景観、風景に配慮がほしい。
- ・さみしい広場との印象を与える。岡山に降り立った人に、印象の少ない街と感じさせる。
- ・プレゼンを聞くと、建築設計部分と植栽造園部分が分業体制に感じられ、駅前広場全体のコンセプトが弱い。
- ・現状からの変化や改善が感じにくい。
- ・岡山らしさ、開かれた空間はよい。
- ・西口との連携をとることは評価できる。
- ・造園に力が偏っているように思う。
- ・路面電車の乗降場に魅力を感じない。
- ・サイン計画を考えていることは大事。
- ・ヒアリング、ワークショップの実施は、時間がかかり過ぎないか。
- ・屋根部分の構造が重く感じる。 ・広場に岡山らしさが表現されていない。
- ・日影が少なく、座れる場所も少なくなるのではないかと感じる。
- ・シンボル性、岡山らしさが欲しい。造園で勝負するのなら、修景ゾーンだけでなく、全体的に構想すべき。考慮の密度にばらつきがある。
- ・市民の声を聞き、共に創る姿勢には共感できるが、まず、自分たちのコンセプトをしっかりと構築することが大切。
- ・もっと主張してほしい。 ・開けた空間を感じる事が、岡山らしいというのは少し無理がある。
- ・もっとインパクトのある企画提案がほしい。 ・イベント利用を考えた企画である。
- ・既存の物を利用し、住民参加型の企画は評価できる。
- ・サイン計画が明確。 ・提案のとおり、市民参加は必要。
- ・岡山駅前で各種イベントを開催するには、非常に使い勝手がよいプラン。
- ・バリアフリーに対する姿勢は高く評価できる。
- ・岡山の玄関口としてのインパクトに少し欠ける。
- ・公園(修景ゾーン)が楽しめるよう、もうひと工夫、ふた工夫が必要だと思う。
- ・もてなし庭園、お茶会や花見ができるようにするのは良いが、造園の管理はどうするか。
- ・イベントの為に駅前という感じがするが、若い人たちがたむろする可能性がある。
- ・歩行者動線の雨対策はいるのではないか。
- ・自転車の広場はおもしろい。
- ・遊ぶ人のためという感じで、駅利用の人への心配りが足りない。
- ・シンプルで分かりやすいデザイン。
- ・開放感があり、「晴れの国おかやま」のイメージにも合致。
- ・自転車交通の回遊性については、交通事故発生リスクも踏まえて検討する必要がある。
- ・JRから路面電車までの動線と同様に、バス乗り場までの動線にも雨に濡れないよう小規模の屋根が必要ではないか。
- ・コストダウンに配慮し、極めて実現性の高い計画であると考え。その一方で、動線計画など、課題認識を明確に持ち、これらに的確に対応した計画であるとも言える。

市民の意見概要(パブリックコメント)

- ・中途半端な感が否めなかったり、岡山市のコンセプトをもとにしたデザインも強引さが目立ち、周囲の景観とマッチしていない。
- ・雨の日、電車に乗るのに濡れそうで不便。シンプルすぎて緑が少ない。
- ・傘が多く連なる案については、「岡山」という場所を特徴的に表していない。
- ・岡山駅前ならではの風景にならない。
- ・築山ひろばに注力しているが、ここは死にスペースで、道路をもっと狭くして自動車交通を抑制しない限り、排ガスにも襲われて、活用できない空間。逆に姫路駅前のように車線減少させてモール化すれば、素晴らしい空間になる。
- ・駅前広場の正面をあまりいじらないのはいいが、シンボル性に乏しい。むしろC社案に軍配があがる。
- ・観光客への案内看板設置計画についてはよく出来ている。
- ・路面電車の停留所と、イベント広場が接近して、イベントを催すには不適。
- ・地味。費用対効果が見えない。
- ・屋根のデザイン性が高く、イベント等に使いにくいと思う。

得点2,049 / 3,000点

<F社>

有識者の意見概要

- ・屋上緑化の発想はよいが、維持管理面で問題が生じないか。
- ・四季の変動に対する屋根内空間の対処に問題が生じないか。
- ・人工的すぎる。
- ・直線が多く、冷たい印象を受ける。
- ・岡山らしさ、風景と言われるが、その風景が駅前デザインには感じられない。
- ・屋根の芝草のメンテナンスが疑問。何年も継続できるか不安。
- ・緑化の考え方はよいが、シャープ過ぎると感じる。
- ・イベント時の利用方法をより検討する必要がある。
- ・デザインコンセプトはよい。
- ・車イス、障がい者の方々の動線が確保されないと思う。
- ・屋根緑化は、公共的にも良いと思う。
- ・ランニングコストや集中豪雨時の排水、強風対策を含め、メンテナンスの問題に対処できるノウハウがあれば良い案である。
- ・フラットで単調な無機質な空間にならないためには、人の五感レベルでのディテールデザインが必要になってくる。
- ・周辺との関係性にも細かい配慮がなされている。
- ・具体性の高い企画提案。
- ・地下街への対応がなかった。
- ・岡山らしさの検証に言及している。
- ・屋根上のメンテナンスについては、どのようにしていくのか。
- ・街全体の計画についての検証が行われている。
- ・重量、柱など地下街に与えるいろいろなリスクが心配。
- ・実際に作るとなると、かなりコストの高いものとなる。
- ・芝生等のメンテナンスが、果たしてきれいな状態を保てるものだろうか。
- ・計画として、インパクトのあるものに仕上がっているが、桃太郎大通り、市役所筋、新幹線から見て、果たしてインパクトのある記憶に残る光景が作れるかどうか疑問。
- ・屋根が芝生であることから、大雨のときに大丈夫か。
- ・はじまり、あつまる水辺、眺める丘等、一つ一つのコンセプトがはっきりしている。
- ・利用する人にとって、使いやすいと感じる。
- ・緑の屋根や芝の管理はどうするのか。
- ・屋根が芝生であることから、大雨の対策はどうするのか。
- ・駅前広場に水遊びする場所はないのではないか。今でも噴水のところで休んでいる人や旅行者が見受けられる。
- ・大屋根には、大規模な基礎が必要と考えられ、地下街への影響については検討が必要。
- ・芝のメンテナンスコスト、現在もある鳥害を助長する可能性など、維持管理上の課題が大きい。
- ・「集まる水辺」は滑って転倒するリスクへの対処が必要。

市民の意見概要(パブリックコメント)

- ・中途半端な感が否めなかったり、岡山市のコンセプトをもとにしたデザインも強引さが目立ち、周囲の景観とマッチしていない。
- ・PlanFもOK。緑がたくさん。屋根があるが、駅の階段から街並みと空が見える。
- ・虫が湧きそう。水辺はスペースの無駄。岡山駅の外観に合わない。
- ・年齢を問わないような利用のしやすさ、さらに都会的に感じられ雑然さがない事、都市に必要な緑が多い事、夏は暑いときに水遊びができる事、岡山らしさがある事に魅力を感じた。
- ・岡山駅ならではの風景にならない。
- ・庭園都市を芝生屋根として表現するという意図はわかるが、大規模な改修の割に利便性、シンボル性ともにC社プランに劣る。
- ・駅前広場に水たまりの様な物と、段差は要介護支援者などに注意が必要ではないか。
- ・これからの時代は、このようなデザインが望まれると思う。

特定テーマ1に対する企画提案

庭園都市 岡山市の魅力伝える場へ - 緑の屋根ときらめく水辺が迎える新しい駅前広場



概算工事費：20～30億円程度

特定テーマ1に対する企画提案

05 大通りと商店街への起点となる水辺空間



駅前商店街と岡山駅を繋ぐ「あつまる水辺」

路面電車が駅前に入り込むことで、商店街や桃太郎大通りへの歩行者動線の変化が懸念されますが、本計画では、駅前広場を分割するように路面電車が入り込むため、商店街に面した広場が自動的に形成されます。この広場をただ歩行者が通過する道ではなく、人が集まる場として位置付け、岡山市の豊かな水資源をモチーフにした噴水と待ち合わせベンチを設け「あつまる水辺」と呼びます。新たにデザインされた水盤のような噴水は市街地からのランドマークとなるだけでなく、駅前商店街を含めた市街地へのアクセスの起点となります。また、噴水の水を掛けば広場としても活用でき、サブイベントスペースとしても活躍します。活動的な場としての性質をもつ「はじまりの丘」に対し、「あつまる水辺」は憩いの場としての性質をもち、デートの待ち合わせや、夏場の休憩場所として活躍します。

水盤のようにきらめく浅い噴水

設置する噴水は安全面や機能面を考慮し、水面の浅い仕様を想定します。太陽が気持ちのいい季節には子どもたちが水に触れあえるようにします。噴水の場所は場所によってベンチとなり、憩いの場を形成します。夜間はライトアップし、駅前広場の玄関口として人々を誘導すると共に、視認しやすく魅力的な待ち合わせ場所としても機能します。



その他、駅前広場デザインに関する市民の意見を以下に示す。

市民の意見概要

『パブリックコメント』

- ・岡山は晴れの国ですので、大きい屋根が要りません。大きい屋根があれば街並と空が見えません。
- ・「大きな屋根で広場全体を覆う」案については、岡山の特徴的な面でもある「晴れの国」の気持ちよい空の広さを感じられないことから、できれば外して頂きたい。
- ・屋根が多いので昼も夜も光のあたり具合が鈍くなるのではないかと。屋根を減らすほうがいいのかも。
- ・「晴れの国」なので、おひさまの光をずっと感じられる空間になるといい。
- ・駅前自体は商業地になっており、駅舎、広場だけが浮いている感じにならないよう配慮いただきたい。
- ・時代の変化によって、駅前ビルテナントがハンコを押したように他の駅と同じで、「岡山に来た」という気持ちになれないことがもったいないとずっと感じていた。個性を出そうとしているデザイナーさんに岡山駅を託したい。
- ・すべてのプランに共通していることとして、現在計画中の「岡山市駅前町一丁目2番3番4番地区第一種市街地再開発事業」との一体開発の視点が不十分です。この再開発事業では、2階部分でペDESTリアンデッキが計画されていると聞いています。どのような導線が考えられるのか、検討すべき。
- ・電車もタクシーも雨に濡れない屋根をつけて下さい。現状では大きな荷物を持って岡山駅からタクシー乗り場に行くだけで雨に濡れる。観光客含め、非常に不評。すてきなデザインよりは、途切れなく雨風をよける機能を優先して下さい。
- ・平面駐車場が要りません。コンパクトな町、賑やかな町のため平面駐車場がダメです。スペースが凄くもったいない。その代わりに広場、木、風水を作ってください。タクシーとバスのスペースも大き過ぎる。
- ・ターゲットを絞るべき。
- ・岡山駅は低層なので、駅を高層化しない限りは、駅外観とのバランスはよく考えるべき。
- ・現在、地下にある観光案内所は駅前広場に移動すべき。
どこの観光都市でも観光案内所は、まず駅に降り立ったら行く場所であり、それをわかりにくい地下の奥地に配置する理由がわからない。市の案では、交通案内所を配置する案になっているが、観光案内所も必ず併設すべき。岡山市が観光都市を目指すのであれば、広場への配置は絶対に必要。
- ・駅前をよくイベントをしているのを見かけるので、屋根があるといい。
- ・「ももちゃり」は現在のホテルグランヴィア前ではなく、より多くの人々の目につく場所に移動すべき。自転車の導線確保は難しいとは思いますが、観光客に使用してもらい、公共交通などでは行けない場所にも足をのばしてもらうならマストである。
- ・我々は岡山駅前広場の賑わい創出のため、2002年より路面電車祭りを駅前広場で始めたが、今日多くのイベントが行われるようになったのは嬉しい。ただ駅前広場には電源コンセント、水道などがなく、どのイベントでも手間と費用がかかり、市民が手軽に活用できる構造ではない。また音楽イベントなど小さな舞台も必要で、舞台を支援するPAを濡らさない最低限の屋根や楽屋スペースも必要だ。
- ・路面電車乗入れスペースの若干の拡大の必要性 現在岡電では18m級MOMOが2両で来春3両目が導入されるが、最低限駅前の路面電車乗り場はすべてが18m級に対応していなければ、将来の環状化などのバリアフリー需要に耐えられない。また、イベント電車などの活用には現在のところは18m級MOMOと12m級を縦に入れているが、駅前広場では考慮されていない。ポイントの形状など再検討の必要がある。
- ・桃太郎大通りを芝生軌道と芝生歩道に 後楽園をイメージし、後楽園までの動線を確保するため、駅前から城下の路面電車軌道は芝生軌道にすることが望ましい。桃太郎大通り北側の歩道にも狭くてもいいから芝生帯を備え、後楽園まで続くと観光客にはわかりやすい。保守は大変だが、桃太郎大通りの殺風景さが解消される。
- ・既存の駅前広場は、清楚で品位があり、市民のひとりとして、現存のままで十分と思っている。

市民の意見概要

『パブリックコメント』

- ・延伸した路面電車は、駅前の渋滞やバスの動線と重なることになる。それを理由に路面電車の運行本数を減らすことだけは絶対にしないでいただきたい。
- ・求める機能として、「利便性向上」、「回遊性向上」、「にぎわいの創出」が必要。そのうえで重視すべきは、「岡山駅から路面電車やバス、周辺の施設への快適な動線の確保」と、「イベントを行うのに十分なスペース」。もっとも必要な物としては、やはり「全面的な屋根」だと思う。
- ・県内産業振興のため伝統建築、産業を活用すべきでは。
- ・県産木材を使用してはどうか。
- ・備前焼、烏城彫、瓦等県内にはいいものがあると思う。
- ・岡山県は、インバウンド旅行者数増加のための施策をとっており、県内在住外国人市民の意見を取り入れることは重要。
- ・岡山駅前と後楽園のイメージにするには、それほど大きな仕掛けはいらないと思われる。
- ・バス停が複雑すぎて不便であるため、もう少しわかりやすいといい。
- ・高さや壁面、色調がそろっている(最近の建物は、いい感じでそろっている)と雰囲気がよくなると思う。
- ・駅前広場から見える建物の中に時計台のようなワンポイントがあるといい。地元民として、よりよい駅前広場になることを願う。
- ・東側(市役所筋側)のバス停までは、地下改札を出れば便利だが、バス乗り場への案内が余りに弱い。JRの商業施設内ではあるが、バス乗り場案内の充実が必要。

『市民のご意見を伺う会』

- ・駅前広場に求める岡山らしさとしては、桃太郎のイメージ。
- ・上からのイメージが多いが、人の視点ではない。
- ・大きい屋根のある案が多いが、晴れの国としてはどうか。空が広がっているほうがいい。
- ・最近はやりのイメージや奇を狙うものは、今はいいが20年後どうか。
- ・末永く市民に受け入れられるデザインがいい。
- ・岡山は、市街地に山、後楽園の借景の操山のイメージ。
- ・岡山らしさは、水と緑、歴史と文化の融合。田舎の景色が中心部でも見られる。
- ・C案は、古臭くならないようにしてほしい。案としては、奇を狙ってなく、6案の中では最もいい。
- ・バス乗り場をわかりやすくしてほしい。
- ・循環バスも駅前広場バスターミナルに乗り入れてほしい。
- ・イベント実施は、今のままで十分対応できている。
- ・道路側のバス停は、地下からだと近いが、地上は遠回りする必要があるため、地下からの動線をもっとわかりやすいものとしてほしい。
- ・軌道敷と広場の境界には、柵等の設置はしてほしくない。
- ・駅前広場内だけでも軌道緑化してほしい。
- ・噴水は、水の象徴として必要。
- ・現状のままでいい。
- ・路面電車が幹線道路を横切るので、渋滞を招く。
- ・他都市の事例は参考にしつつも、岡山にあった計画としてほしい。
- ・後楽園へ近づけるため、番町線を復活させてはどうか。